

第2グループ 事業番号③

事業シート (概要説明書)						
担当局名			予算事業名	ちくご子どもキャンパス事業		
担当部名			総合計画上の位置付け	青少年の健全育成 地域間連携・交流の推進	作成責任者	
担当課・係名	生涯学習課 生涯学習係				矢野 智行	
事業開始年度	平成17年度		根拠法令			
1 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕 (補助先: 実施主体: ) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )					
	(1) 目的 (何のために)	小学校の高学年を対象とした体験型学習プログラムにより、地域や他者とのつながりを学習させる。また、筑後地域のネットワーク化を図り、地域全体を学びの場として機能させる。				
	(2) 対象 (誰・何を対象に)	原則として小学4年生から小学6年生の子ども。募集人員は、原則として20名～30名程度とし、参加者の居住地は県内外を問わない。				
	(3) 事業内容 (手段、手法など)	筑後地域の12市町と連携をとり、テーマに沿ったプログラムを実施する。 実施時期はおおむね7月から3月の間とし、宿泊を伴うもの、もしくは数回のプログラムとする。 対象者は小学4年生から6年生までの児童で、20名程度。 参加者の居住地は県内外を問わない。				
(4) 事業の必要性	21世紀を担う子どもに体験型学習の機会を与えるとともに、筑後地域の12市町と連携をとることにより、ネットワーク化を図る。					
3 コスト	平成22年度		人件費			
	(1) 事業費	254 千円	}	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数
	(2) 人件費	453 千円		担当正職員	384 千円	0.05 人
	(3) 総計	707 千円		臨時職員他	69 千円	0.03 人
4 事業費 (財源内訳・単位千円)	年度	総額	実施方法が補助金の場合、 事業費の負担割合	財源内訳		
	H19(決算)	437		一般財源	84	
	H20(決算)	264		筑後田園都市推進 評議会補助金	150	
	H21(決算見込)	207		参加費	20	
	H22(予算)	254				
5 平成22年度 事業費内訳	需用費 70千円 役務費 4千円 委託料 55千円 負担金 125千円					

事業シート (概要説明書)						
担当局名		予算事業名	ちくご子どもキャンパス事業			
担当部名		総合計画上の位置付け	青少年の健全育成 地域間連携・交流の推進			作成責任者
担当課・係名	生涯学習課 生涯学習係					矢野 智行
6 事業実績	【活動指標名】 / 年度実績・評価	単位	H20年度	H21年度	H22年度	
	延べ参加人数 (町内)	人	14	9	7	
	延べ参加人数 (町外)	人	17	5	8	
	合計	人	31	14	15	
7 単位当りコスト (事業費/活動指標)	事業費/延べ参加人数	円	8,516	14,785	16,933	
8 成果目標 (現状の成果及び今後どのようにしたいか、定量的な評価で示す)	<p>この数年において参加者数が伸び悩み、減少傾向にある。これは、実施するプログラムに大きな変化が無く、魅力あるものになっていないことと、プログラムの周知方法に問題があると考えられるが、観光資源、施設が乏しい中での実施でもあるので難しい面もある。</p> <p>今後は大刀洗町の情報や魅力が広く伝わるように、筑後田園都市推進評議会との連携により、情報発信の方法を強化するとともに、町のよさを十分に活かしたプログラム作りに重点を置き、特に町外からの参加者を増やす。</p> <p>・目標 2回のプログラム実施による延べ参加人数40名 (うち町外者20名)</p>					
9 成果実績 (成果指標の目標達成状況等)	【成果指標名】 / 年度実績・評価	単位	H20年度	H21年度	H22年度	
	延べ参加人数 (町内)	人	14	9	7	
	延べ参加人数 (町外)	人	17	5	8	
	合計	人	31	14	15	
10 事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	<p>観光資源や施設が乏しいことはマイナス要素ではあるが、プログラムの内容や、周知の方法を工夫することにより、参加者の確保は見込められると思われる。特に、周知方法についてはホームページやサイトなど、筑後田園都市推進評議会と連携を取りながら強化する必要がある。</p>					
11 比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	<p>・小郡市 (おごおりものづくり学部実行委員会) 組立望遠鏡作り、天体観測、「七夕伝説」の学習 1泊2日 参加者24名 (うち市外者7名)</p> <p>・うきは市 (うきは市子どもキャンパス実行委員会) 農業体験、竹細工作り、神楽鑑賞 1泊2日 参加者17名 (うち市外者17名)</p>					
12 特記事項 (事業の沿革等)	<p>・平成17年に筑後田園都市推進協議会 (県と16市町村で構成) のリーディングプロジェクトのひとつとして、筑後チルドレンキャンパスを実施する。</p> <p>・平成20年度より名称がちくご子どもキャンパスとなる。</p> <p>・平成23年度より筑後田園都市推進評議会よりの補助金が終了となり、単独事業での実施となる。</p>					